



## 乗用型パイプ支柱引き抜き機の開発

パイプ支柱はキク等花き栽培のネット用支柱や洋ニンジン、ノザワナ栽培等のミニパイプハウス用資材として多く使用されていますが、収穫後の撤去が土質によっては大変な重労働となります。そこで、支柱の引き抜き、運搬が楽にできる乗用型パイプ支柱引き抜き機を開発しました。

### 開発機の概要

- 1 台車、エンジン、油圧機構等はR社製荷台昇降機能付き小形運搬車を使用し、機体中央に座席を設け、両手のレバーにより操行、左足で機体の走行・停止ペダル、右足でパイプ把持ペダル、右手で引き抜き用シリンダー昇降レバーの操作を行います。
- 2 把持が可能なパイプ径は支柱として多く使用されるφ19としました。他のサイズに対しては把持ユニットの交換が必要です。
- 3 パイプの把持から引き抜き完了までの所要時間は約2秒です。このため、引き抜き作業を効率良く行うことができます。
- 4 レバー操作によりパイプを把持装置に合わせる際、ある程度の慣れが必要です。
- 5 機体側面に設置したパイプ収納ラックにはφ19のミニパイプハウス用支柱84本の積載が可能です。※試作段階であるため、まだ市販の予定はありません。



正面図



側面図



パイプ収納ラック



パイプ把持ユニット

### 問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター 農業研究所 栽培システム担当

TEL (088) 674-1660

FAX (088) 674-3114

<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>